

制定2020年6月27日

改定：2020年7月9日

沖縄県小学生バレーボール大会時の 感染拡大防止ガイドライン

沖縄県小学生バレーボール連盟

会長 桃原 亮昌

選手の家庭で行う事

① 体調の確認

大会に参加する際は、以下の事を把握して下さい。

- 1) 当日の検温→37.5度以上(微熱)の場合は参加できません。
- 2) 参加日前2週間における以下事項の有無を確認して下さい。
該当する場合は、大会に参加できません。
 - ア 平熱を超える発熱 前述1)同様
 - イ 咳(せき)、のどの痛みなど風邪の症状
 - ウ だるさ(倦怠感(けんたいかん)、息苦しさ(呼吸困難)
 - エ 嗅覚(におい)や味覚(あじ)の異常
 - オ 新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触の有無
 - カ 同居家族や身近な知人に新型コロナウイルス感染が疑われる方がいる場合
 - キ 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域などへの渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合

② 家を出て体育館コートに入るまでは、マスク着用させる。

観戦する御父母で行う事

① 観戦する場合の注意点

- 1) 体育館入館時、消毒液で手指を消毒する。(各チームで消毒液は準備して下さい)
- 2) マスク着用する。マスク着用が無い場合は入館できません。
- 3) 応援は禁止です。静かに観戦願います。
- 4) 密にならないようにソーシャルディスタンスで間隔を空ける事。

監督・コーチ

上記①観戦する場合の注意点と同じ。

- 1) 部員の顔色が悪い、咳が激しい、動きが悪い、呼吸が荒い等通常との違いを観察しながら練習を行う。

- 2) 前述の状況がある場合は、練習から外し、ご父母に連絡し退館してもらう。
状況によっては、病院に搬送してもらう。
- 3) 部員に指示する場合は、マスクを着用する。(指示の無いプロトコール中はマスクを外しても良いこととします)
- 4) 大会当日チーム参加者で発熱者が発生した場合は、大会長へ報告する。

選手が守る事

- ① 練習前・大会前に必ず検温してから参加する。風邪気味や体温が高い時は、練習に参加しない。
- ② 汗拭き用タオルは、個人用を持参する。他人の物は借りない。
- ③ 飲み物は、個人の水筒やボトルを持参し、他人の物は借りない。
(体育館内の人全員です)
- ④ アイシングバックは供用しない。
- ⑤ マスク着用で体育館に来る。入館時、消毒液で手指を消毒する。
- ⑥ 試合中に外したマスクは各個人袋等に入れ保管する。※廃棄の際は袋に入れて縛る。
- ⑦ 体育館シューズ・リュック等は離して置く。
- ⑧ ウォームアップをする場合の注意点
(ア) マスクは片付ける(熱中症予防の為) 2) ランニング時の掛け声はやらない 3) ストレッチは密にならないよう間隔をあけてから(両手を広げて接触しない程度)行う
- ⑨ パス練習時は、大声を出さないようにする。
- ⑩ 試合前などの円陣や、ベンチでの集合時においても密集・接触を避ける。
- ⑪ 点数を取った時でもハイタッチは行わない。
- ⑫ ネット際での相手に向けた状態での発声は控える。
- ⑬ 試合開始時のチーム握手は行わない。アタックライン上で整列です。
- ⑭ プロトコール開始時のキャプテン・審判への握手は行わない。挨拶だけとします。
- ⑮ 試合終了後の審判への感謝は、挨拶だけとし握手は行わない。

参加チームで行う事

- ① 補助員のチーム記録係は鉛筆・消しゴムをチームで準備する事。
- ② チームスタッフは、試合後に記録席テーブル、イス・ベンチ用イス・点数掲示用イスを持参した消毒液で消毒しふき取る。
- ③ 体育館入館時、手指の消毒を行う。(各チームで係を決めておく)
- ④ チーム内のゴミは各チームで持ち帰る。※回収後は手洗い実施
- ⑤ トイレ使用時のドアノブ、水洗トイレのレバー等の消毒と手洗い
- ⑥ 大会終了後、会場を後にする時は自チームがいた場所の消毒を実施する。
(座席や手摺り等、接触の可能性のある場所)

事務局で行う事

- ① マイクはビニール袋で包む。審判用フラッグ握り部分は、試合終了後消毒液で消毒しふき取る。(各会場で係を決めておく)
- ② 各体育館入館時、運営関係者の手指消毒を行う。
- ③ 大会運営中は喚起のために、常に窓を開けておく。

審判で行う事

- ① 使用したホイッスルの消毒及び管理（共用しない）
- ② 審判台及び接触力所のポール等の消毒実施。